

## フォト&スタジオギャラリー ミュリ

一般社団法人日本販売士協会 登録講師 米林 一郎 (兵庫県)

JR大阪駅などキタのメガターミナル街から、さらに北へ徒歩で約10分。淀川に沿うような形で位置する中津は、大阪の中心ビジネス街と高度成長期に増加した住宅街とが共存する不思議な二面性を持つ街である。

徒歩圏内には昨年、超巨大商業施設「グランフロント大阪」が誕生し、年間5,000万人以上が訪れる人気スポットとなっている。

近年は利便性向上と市民の都心回帰傾向の強まりを受け、高層マンションも増えている。

街の様相が大きく変わるなかで、阪急中津駅前に立地する「フォト&スタジオギャラリー ミュリ」の洋館建築風の佇まいは、独特の風格と存在感を醸し出している。

### ■接客応対もてなしの重要性を再認識

フォト&スタジオギャラリー ミュリの創業は、2010年10月。オープンから約3年半の新しい施設である。5階建てビルの1階と2階部分は、貸しギャラリーとして写真・絵画・書道・版画などの個展を開ける。

また、オーナーの田中美百合氏が撮りためてきた写真も展示。希望者には販売している。

展示品には、有名な展覧会での入賞作品も多く、世界各地の景色を中心とした迫力ある写真が芸術的な空間を演出している。

販売士の資格を取得したのは、他でもない田中美百合さん。「商工会議所からの勧めもあり、販売士を取得しました」。試験に臨む前には「ギャラリーを運営で忙しいなかでしたが、一生懸命勉強しました」とのこと。

お客様への接客応対もてなしの重要性を学び、役に立つことが多いという。それ以外にも作品展示のレイアウトや演出にもそのノウハウが随所に活か

されている。また従来、同ギャラリーの理念である感動スペースの提供と、アーティスト支援にもつながっているように感じた。

### ■最大のセールスポイントは「くつろぎ空間」

ゆったりとくつろげるスペースづくりに気を配っている。ギャラリー内の照明から応接セットに至るまで、心地良い環境をしつらえていた。

通常はギャラリーというとおくおくれし、なかなか入りにくい雰囲気の間も多いが、ここは開放型といってもいいウェルカムムードにあふれている。絵画や写真などの展示だけでなく、フルートなどの楽器演奏会の場としても使用されることもあるそうだ。「お客様にどんどんお越しいただくのが何よりの幸せ」と、田中さんは満面の笑顔で話す。

祖父の代からこの地で商売(ガラス店)をし、引き継ぐ形でのスタートから現在のギャラリー創設に至るまで、苦労も多かったと聞いた。

先祖は滋賀県出身だそうで、そのもてなしの姿勢や相手の立場を考えた雰囲気づくりに、まさに近江商人の「三方よし」の思想(売り手よし、買い手よし、世間よし)を感じた。

店は当事者だけでなく、世間のためにもなるものでなければならない。この田中さんの強い信念に共感を覚えた。



フォト作品中心の展示風景と田中美百合氏